

さきがける 科学人

vol.55

中島 朋

Nakajima Tomo

千葉県立佐倉高等学校 教諭



プロフィール 福井県あわら市出身。2011年に筑波大学理工学群物理学類を卒業し、13年に同大学大学院で修士(教育)を取得。在学中に日本科学未来館でボランティアとして展示物を解説し、優れた社会貢献活動に認められ、若狭賞を受賞。宇宙教育指導者や科学コミュニケーターの研修にも参加し、13年より現職。趣味は科学玩具集めと科学館巡り。

「本物」の力で宇宙の魅力を伝えたい

毛利衛さんに憧れて

理数教育に熱心なスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の福井県立高志高校を卒業し、巡り巡ってSSHの千葉県立佐倉高校で物理を教えています。

普通科に通っていた私が物理にのめり込んだのは、高校1年生の時のある出会いがきっかけです。母校の講演会で、元宇宙飛行士の毛利衛さんの話を聞いたのです。市民ホールの巨大スクリーンに広がる宇宙の映像と、最新の研究成果が描き出す宇宙の謎に引きこまれました。今でも、毛利さんの絶妙な語り口が鮮明によみがえります。

すぐにブラックホールについて調べ始め、2年生の選択科目で物理をとりました。「女の子に物理なんて無理」。先輩からのそんな冷やかしが、逆にバネになりました。

この頃から、身の回りの現象に疑問を持つようになったのです。ある時、通学の電車から窓の外を眺めていると、雷でもないのにちかちかと光る雲が見えました。周りの人に正体を尋ねても要領を得ません。よりによって、筑波大学の推薦入試で、面接官に唐突に質問してしまいました。場違いな質問に、面接官は大笑い。高校の先生は、「合格したのは、疑問にまっしぐらな姿勢が評価されたためかな」と苦笑しました。

大学4年生の時、その面接官だった三明康郎先生の研究室に進みました。ご専門は原子核物理で、宇宙の起源の謎を解くにはここしかないと思ったのです。

宇宙飛行士への憧れは強まる一方で、大学内や近くのJAXA筑波宇宙センターでの講演会などに足繁く通いました。向井千秋さんが講演すると聞けば医学部での学会にもぐり込み、国際宇宙ステーションに滞在中の宇宙飛行士との交信イベントがあると聞けば、宇宙センターに見にいきました。

憧れの毛利さんと再会したのは、日本科学

未来館でした。未来館のボランティアに応募し、その研修でお会いしたのです。緊張で声を上ずらせながら、1つ質問をしました。

「宇宙の暗闇が怖くはないですか?」

毛利さんの答えは明快でした。「暗闇の自身がわかれば怖くはないですよ」。宇宙の謎を探究する人と、その成果を伝える人の力によって、安心して暗闇の中へ飛び出せるのだと確信しました。この2つの力を教えるためには伸ばしてもらいたいと思っています。

「本物」が持つ大きな影響力

研究を続けるか、理科離れをくい止めるために文部科学省で働くか、学芸員や教師になって宇宙の魅力を伝えるか、進路には悩みました。資格だけは取っておこうと、福井県に教育実習に戻りました。その3週間の楽しい経験と母校の恩師に背中を押され、決意しました。

教師になって4年目。ようやく私の強みがわかってきました。専門の宇宙物理と、「本物」の人や物が与える影響力の大きさを知ることです。宇宙で撮影された映像をJAXAやNASAから手に入れては紹介しています。講演会で三明先生に宇宙物理を話していただきました。未来館や研究所に生徒を連れていき、最先端の研究成果に触れる機会も作っています。

将来は高校の物理の授業だけでなく、もっと幅広く市民に科学の魅力を伝えてみたい。出会った人々からももらった刺激は、私の大切な宝物です。これからは、私が社会に恩返ししていこうと考えています。

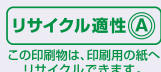
(JST広報課・松山桃世)



宇宙飛行士に憧れて、JAXAに通いつめていました。

次世代人材育成事業 スーパーサイエンスハイスクール(SSH)支援

SSHは文部科学省によって指定され、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的能力や科学的思考力を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取り組みです。SSHでは「科学への夢」や「科学を楽しむ心」を育み、生徒の個性と能力を一層伸ばしていくことをめざしています。



古紙/ルル配合率80%再生紙を使用

JSTnews

November 2016

発行日/平成28年11月1日
編集発行/国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)総務部広報課
〒102-8666東京都千代田区四番町5-3サイエンスプラザ
電話/03-5214-8404 FAX/03-5214-8432
E-mail/jstnews@jst.go.jp ホームページ/http://www.jst.go.jp
JSTnews/http://www.jst.go.jp/pr/jst-news/



最新号・バックナンバー